

山形新聞社の許可を得て掲載

新庄開府400年を発信 高校生チーム アンバサダーに

新庄開府400年事業アンバサダーの
認定証を受け取る「WATS」のメン
バー
|| 新庄市役所



新庄開府400年記念事業実行委員会は17日、最上地域などの高校生4人でつくる地域活動チーム「WATS」を記念事業アンバサダーに認定した。

WATSは動画制作やスイーツ開発などで地域活性化に取り組んでいる。アンバサダーとして、2025年内に完成を予定している新庄藩を題材にした短編映画の制作や交流サイト(SNS)を活用した広報活動などを担う。

新庄市役所で行われた授与式では実行委員会の会長を務める山科朝則市長がWATSのメンバーに認定証を手渡した。プロジェクトリーダーの新庄北高2年生七菜子さん(16)は「高校生の視点で市と記念事業を盛り上げたい」と語った。

新庄藩初代藩主の戸沢政盛は1625(寛永2)年に新庄城を築いて領内を開いており、2025年に開府400年を迎える。

(八木沢駿)